

令和元年度事業報告書

令和元年度事業内容（平成31年4月1日～令和2年3月31日）は、以下のとおりであります。

1. 基本財産等に関する事項

令和元年度は、東京海上日動火災保険株式会社等からの基本財産への寄附はありませんでした。なお、同期間において、東京海上日動火災保険株式会社から、令和元年度の運用財産として24,500,000円の寄附がありました。

2. 定例事業の実施

定例事業につきましては、令和元年5月より教育研究助成事業・交通遺児育英助成事業の募集を開始しました。

応募数は、教育研究助成事業が134作品、交通遺児育英助成事業が128名となり、令和元年12月3日開催の選考委員会で、教育研究助成134作品、交通遺児育英助成110名を採択し、助成を行いました。

令和元年度の教育研究助成事業及び交通遺児育英助成事業の定例事業助成金総額は23,557,000円となりました。

（助成金の内訳）教育研究助成事業	12,400,000円（134作品）
交通遺児育英助成事業	11,157,000円（110名）

3. 正味財産について

（1）指定正味財産

令和元年度の指定正味財産は、850,725,992円で、前年度から変更はありませんでした。

（2）一般正味財産

評価損益等調整前当期経常増減額（経常収益から経常費用を差し引いたもの）は2,288,490円の支出超過となりました。

コロナウイルスの影響による株式市場の低迷等により、基本財産評価損益等は35,767,090円減少し、特定資産評価損益等は174,800円減少しました。

その結果、令和元年度の一般正味財産は、前年度より38,230,380円減少し、208,685,177円となりました。

4. 各種会議の開催等

令和元年度に開催した会議は、理事会3回、評議員会2回、選考委員会1回であります。